

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立安岡小学校

学習環境の整備

集団生活の基本を身に付け、自己の成長を自覚しながら、落ち着いて学べる環境を構築する。

具体的な取組の内容(1)



幼保・小連携授業参観

学校が始まって1か月の成長を幼稚園・保育園・こども園の先生方に見ていただきました。



子どもたち一人ひとりの成長を確認し、本校のスタートカリキュラムについて、検討し協議していただきました。

成果

入学後わずかな期間ではあるが、学習規律や生活習慣が定着している姿を確認できた。

幼稚園教諭や保育士の視点で授業や学習環境を見てもらい、共通点や相違点を明確にすることができた。

個別に支援が必要な児童の情報を共有し、指導に生かすことができた。

幼稚園や保育園でできていることを基盤として、スタートカリキュラムを見直すことができた。

具体的な取組の内容(2)



幼稚園の友達にダンスを教えました。手本を示して、一緒に踊ることができました。

保育園の友達と玉入れをして、一緒に楽しみました。



成果

幼稚園や保育園の友達を楽しませることを通して、自己の成長を確認し、小学生としての自覚と成長を促すことができた。

幼稚園教諭や保育士に半年後の成長の様子を見てもらい、価値付けてもらうことで、次の学習の意欲へと繋がった。

コロナ禍の状況ではあったが、一人ひとりが活躍できるよう工夫して交流活動を実施し、互いに有意義な時間となった。